

国賠同盟京丹後支部

「2020年新春のつどい」へのメッセージ

2020年1月18日 日本共産党丹後地区委員会

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟・京丹後支部の「2020年新春のつどい」にご参加のみなさんに、日本共産党丹後地区委員会より連帯とお祝いのメッセージを送ります。

みなさん。昨年は市民の力が政治を大きく動かした1年でした。市民と野党の共闘により、夏の参院選で改憲をねらう勢力を3分の2割れに追い込み、先の臨時国会をふくめ4たび改憲案の提出を阻止しました。

大学入試の英語民間試験の導入をめぐり、高校生や市民が反対の声をあげ、ついに導入延期に追い込んでいます。世界では温暖化に心を痛めた若者たちが数百万人規模で行動し、各国に温暖化対策を迫りました。香港でも人権抑圧に反対する民主派が区議選で圧勝しました。

この丹後では、米軍基地の無法に反対する集会で、初めて立憲民主党の代表と共産党、社民党、新社会党の国政野党が並び、「力をあわせ安倍政治を終わらせよう」と訴えました。

世界でも日本でも丹後でも、声をあげ力をあわせれば、政治を変えることができるということを示した1年でした。今年もこの流れを大きくひろげ、ひどい政治をやめさせ、市民の願いが届く政治を実現しましょう。

みなさん。20日から通常国会が招集されます。「サクラ」疑惑やカジノ汚職など腐った政治にメスを入れること、消費税10%増税をうけた増税不況にたいし「5%減税で景気回復を」と提起すること、緊迫する中東への自衛隊派遣の中止を迫ること——など、いまの安倍政権の悪政をただし、くらし第一の施策に切り替える国会内外の論戦と運動が求められます。日本共産党は、「市民と野党の共闘」の力で総選挙に勝利して、安倍政治をやめさせ野党連合政権の実現をめざします。お力添えを心からお願いいたします。

みなさん。今年はさらに4月26日投票で、京丹後市の市長と市会議員の選挙が行われます。日本共産党は「新しい京丹後市をつくる会」の構成団体として、幅広い市民のみなさんと市政の転換をめざします。市議選では、定数2減・20となったもとの、「行政をチェックしハッキリものを言い、市民の願い実現へしっかり働く」4人の議員団の確保に向け、奮闘します。

みなさんの国賠同盟は、「ふたたび戦争と暗黒政治の復活を許さない」ことを求め結成されました。いま新年に当たり、戦争する国づくりを許さず立憲主義の回復と個人の尊厳を擁護する政治の実現をめざすため、ともに力をあわせることをお誓いします。丹後から「くらしに希望がもてる政治を」の声をあげましょう。

最後に19日告示・2月2日投票でたたかわれる京都市長選挙で、「つなぐ京都2020」が推す弁護士・福山和人さんの勝利に向けて、もてる力のすべてで支援することが訴えられています。京都市長選に勝利することは悪政に対抗し「市民が主人公の政治」の実現に向けた全国的な意義があります。ともに全力を尽くすことをお約束し、「新春のつどい」へのメッセージとさせていただきます。

今年もよろしくお願いいたします。

以上